



2021
6月

園だより

認定こども園 下関短期大学付属第二幼稚園
山口県下関市彦島塩浜町2丁目2-21 ☎ 083(266)5821

考える、決める、やってみる！

新型コロナウイルス感染症のニュースに毎日一喜一憂して1年以上たちました。そろそろ自粛疲れがたまってくる頃ですが、ワクチン接種も加速してくると聞いています。もうひと踏ん張り、みんなで乗り切りましょう。

さて、本園のチャレンジ目標は、「考える、決める、やってみる！」です。子どもはすくすく健康に育つのが一番です。まずは元気に、そして明るく、思いやりのあるやさしい子に育てほしいとすべての親が願っています。その一方で、20年後に自立し社会に貢献できる若者に育てるという役目も、親を含め社会は担っているのです。

では、この子たちが大人になる頃、社会は一体どうなっているのでしょうか。

今から8年前、イギリスのオックスフォード大学、オズボーン准教授が発表した論文が世界中に衝撃を与えました。「AIの台頭により、10～20年後、現在の職業のおよそ半分がなくなる。」という内容です。そういえば、駅の改札も高速道路の料金所もすでに無人になっています。最近では、シーモールの駐車場出口もついに機械化。先日知らずにレシートを大事に持って出たら無用でした。ガソリンスタンドやスーパーなどでも「セルフ」の文字が増えてきました。路線バスやタクシー、コンビニの無人化実証実験も始まっているそうです。

一方、今回の新型コロナ。さすがのAIも太刀打ちできませんでした。全く新しいタスクに対しては分析処理するに足るデータがないからなのかもしれません。新型コロナのような未知の課題は、将来も続々と発生することが考えられます。AIを効果的に活用しながらも、人間の知見と思考力、判断力を発揮する場は今後ますます増えてくるはずで

ところで、消臭剤のファブリーズでお馴染みのプロクター&ギャンブル社(P&G)では、新入社員や若手社員から上司や先輩が質問を受けた際、「YES」か「NO」で答えられないような質問には全く耳を貸さないそうです。「〇〇の時はどうしたらいいですか？」のような聞き方では、「YES」や「NO」で返答ができません。何度も聞いてくると、「あなたならどうしたらいいと考えているのですか。」と逆に問い返すそうです。どうしたらいいか指示を仰ぐのではなく、自分なりに考えたことを上司や先輩に聞いてもらい、それでOKかどうかを質問させる。「How」や「What」、「Where」などの聞き方をさせないというのがこの会社の人材育成の方針だそうです。

本園では、昨年度再編成した新しい教育課程「新二幼プラン」に基づいた教育・保育を行っています。新二幼プランでは、子どもの主体性を柱に編成しています。例えば、母の日のプレゼントを作る際、もも組ではどんなものだったらお母さんが喜んでくれるだろうかと子どもたちに投げかけ、子どもたちの発言や発想をもとにプレゼントを決めました。また、さくら組の園児は、新型コロナ対策も兼ねて、自分たちが園のみんなのためにできることはないだろうかと、自主的に清掃活動を計画し実践してくれています。

「やらされる」のではなく、「自ら考えやってみる」行動には魂が宿るものです。相手を意識しながら心を込めるようになります。それは必ず相手に伝わります。そして互いに幸せな気持ちになります。この点はさすがのAIも人間にはかないません。ご家庭においても、日常の些細なことから、まずお子様に発言や選択の機会を与えてみてください。すべて「NO」で却下されず、少しくらいは目をつぶり、自らの意志でトライさせてみられてはどうでしょう。(園長 寺本 明生)

